



2021年10月7日

各 位

会 社 名 株式会社オンワードホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 保元 道宣
(コード番号 8016 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 財務・経理・IR担当 佐藤 修
(TEL 03-4512-1030)

2022年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月8日に公表しました2022年2月期第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)の業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)の連結業績予想について下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年2月期 第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)の連結業績予想値と実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	89,300	△3,000	△3,000	2,200	16.25
今 回 発 表 実 績 値 (B)	80,785	△3,294	△2,862	7,448	54.92
増 減 額 (B - A)	△8,514	△294	137	5,248	—
増 減 率 (%)	△9.5	—	—	238.6	—
※ (ご参考) 前期第2四半期実績値 (2021年2月期第2四半期)	81,353	△10,979	△11,454	△15,188	△112.26

2. 2022年2月期 通期（2021年3月1日～2022年2月28日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	190,500	3,200	3,000	6,300	46.52
今回修正予想（B）	174,600	1,000	1,200	8,200	60.47
増減額（B－A）	△15,900	△2,200	△1,800	1,900	－
増減率（％）	△8.3	△68.8	△60.0	30.2	－
※（ご参考）前期実績値 （2021年2月期）	175,899	△20,173	△20,174	△23,181	△171.18

※ 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更をおこなっているため、前期第2四半期実績値及び前期実績値についても当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しています。詳細は、本日公表しています「2022年2月期 第2四半期決算短信」の【添付資料】P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）」をご覧ください。

3. 業績予想値と実績値の差異および通期業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス変異株の拡大による感染者の増加、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の対象地域の拡大により、消費マインドの低下や大型商業施設の営業自粛等、経済活動が大きく制限され、売上高は予想を下回る結果となりました。損益においては、一昨年秋から取り組んできたグローバル事業構造改革の効果が表れ、売上総利益率の改善や固定費削減に伴う販管費率の低下により収益性が改善され、営業損益は予想を若干下回ったものの、経常損益は予想を上回る結果となりました。また、2021年8月26日に公表いたしました「固定資産（信託受益権）の譲渡および特別利益（固定資産売却益）の計上に関するお知らせ」のとおり、当社グループが保有する不動産の売却益を当第2四半期において計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想値を大幅に上回る結果となりました。

通期の業績見通しについては、ワクチン接種の進展による規制緩和が進み、経済活動の持ち直しが期待されるものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響は長期化するものと想定され、国内アパレル関連事業の売上高の回復度合いは当初予想よりも鈍化するものと想定し、連結業績予想値を修正するものです。

（注） 業績の予想は、本資料の発表日現在において、当社が入手可能な情報に基づき判断して作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上